

熊本大学法学部地域公共人材クラス

地域公共演習Ⅰ第4回（2024年10月22日） 活動紹介

熊本大学法学部地域公共人材クラスでは、1年次後期の地域公共演習Ⅰにおいて、地域の経済を学ぶ機会を設けており、今年度は第4回・第5回が熊本銀行による講義回となっています。第一弾となる第4回講義では、熊本銀行ソリューション営業部の方による金融についてのご講義と、熊本銀行と同じくふくおかフィナンシャルグループに属する福岡銀行の台北駐在員事務所から駐在員のお二人に、オンラインで九州企業の台湾進出などを支える銀行駐在員の業務内容の紹介や、台湾におけるTSMCの熊本進出がもたらした影響などについてのご講義をいただきました。



前半の講義では、相続をめぐり家族間で生ずる意見の対立の発生と、その解決方法をさぐるためのグループワークに取り組みました。一般家庭の相続と異なり、事業活動を行う富裕層の財産の相続をめぐっては、事業承継の問題も絡み、家族間でも対立が生じることも大いにあります。銀行業務の一環としてそのような問題に関わることの多い講師の方々からのアドバイスを聞きつつ、学生たちも、各グループそれぞれに解決策を考えることができました。



後半は、台湾からオンラインでお話を聞くというこれまでにない試みでした。質疑応答の際に接続が途切れるアクシデントがありましたが、学生は、TSMCのリアルな規模感や、九州の企業が台湾に進出する際にも銀行が支援業務を行う必要性などを具に知ることができたことで、現在熊本で起こっている変化の意味をさらに深く知ることができたのではないのでしょうか。